

中国瀕危動物紅皮書(中国レッドデータブック) 鳥類  
鄭光美・王岐山編14. ナベコウ *Ciconia nigra* (黒鶴)

別名 黒老鶴, 烏鶴, 鍋鶴

英名 Black Stork

コウノトリ目 Ciconiiformes

コウノトリ科 Ciconiidae

危急等級 危急(E)

CITES(1995)

**識別特徴** 大型涉禽, 体長約100cm. 体上面は頭から尾に至るまですべて黒褐色, 紫緑色で金属光沢を帯びる, 頬, 喉から前胸部まで黒褐色, 体下面はすべて純白色, 虹膜は暗褐色, 嘴, 眼瞼周囲, 腿, 脚は均しく朱赤色. 幼鳥の頭, 頸および前胸はすべて褐色, 頸および前胸の羽端は黒褐色の斑点状を呈す. 翼羽および尾端はわずかに淡い黒褐色, 胸, 腹部の中央は淡い黒褐色に染まる. 嘴, および脚は灰褐色.

**分布** 東北, 西北地方と華北地方で繁殖する. 長江以南の地域で越冬する. 最近の数年, 内蒙古自治区の呼倫ホロン湖の科尔沁保護区, 黒竜江省の山河保護区, 遼寧省の千山, 吉林省の長白山, 北京市の門頭溝, 山東省の泰山, 青海省の隆宝灘保護区, 山西省の恒山, 太白山, 五台山, 芦芽山, 関帝山, 馬鞍山, 太行山, 太岳山, 紫荊山, 中条山など, 新疆省南部の塔里木河および塔里木盆地周辺のオアシス湿地, すでに知られている烏倫古湖, 伊犁河, 瑪納斯湖, 烏魯木齊河と靜県, 塔里木河下流の尉犁, 沙雅県, 渭干河, 温宿県, 阿克蘇河, 巴楚県, 伽師県, 烏恰県, 阿克陶県, 皮山県, 墨玉県, 和田県, 且末県, 若羌県, 叶尔羌河, 若尔蓋県などで繁殖している報告がある. 渡り途上において新疆省の羅布泊, 遼寧省の遼河三角洲, 河北省の北戴河, 河南省黄河の花園口等の報告がある. 越冬地では雲南省の納帕海, 貴州省の草海, 湖南省の洞庭湖, 湖北省の沉湖, 洪湖, 龍感湖, 安徽省の升金湖保護区などである. 国外の繁殖分布地は中部ヨーロッパから東はシベリア, 朝鮮半島に達し, アフリカ, インド, タイ, ラオス東北部で越冬する.

**生息地および習性** 多くは山の断崖絶壁にある岩の窪み, あるいは浅い洞穴に営巣し(山西省), またオアシスなどではハコヤナギの大木に営巣(新疆省タリム河中流)し, 従来の旧巣を使用する習性がある. 主要食物は魚類, 例えばフナ, ドジョウなど80~90%を占め, ついでカエル類, その他ケラ, コオロギ, ゲンゴロウ等を食す. 3月に繁殖地へ渡り, 4月下旬産卵, 毎巢4~5卵, 抱卵31日間, 育雛60~70日, 9月下旬から10月に南へ渡る. 越冬地でも大群を見ることがなく, ツル類などの涉禽類と共に浅い水辺で行動している.

**総個体数** 1990~1993年の中国越冬期水鳥調査によると, 1990年(6湿地)と1991年(4湿地)の46羽, 通常見られる数はわずかに3~5羽, 鄱陽湖で越冬しているナベコウの最も多く見られた記録でもわずかに11羽である. 長白山北麓およびその附近800km<sup>2</sup>の観察では平均0.75羽/100km<sup>2</sup>で, 山西省における1982~1984年の4680km<sup>2</sup>における調査では平均1.03羽/km<sup>2</sup>で, 繁殖群の数は40羽前後. 新疆省南部において1985~1992年にかけて40河川とダムでの調査では, どの河川でも1~4つがいのナベコウが生息しており, 200ほどあるこの地域の河川か

ら推算すると、ナベコウの総数は500～1000羽と考えられ、これにより中国におけるナベコウの総数は1000羽内外と推定される。

**危機に至る原因** ナベコウの繁殖地は、山を開き、岩を砕き、道を作り、採石場、遊園地、保養所などの建設、油田掘削による汚染、越冬地では湿地環境の悪化、銃猟などの脅威があげられる。

**飼育繁殖** 国内動物園による飼育。1986年上海動物園と齊齊哈爾龍沙公園で人工孵化、育雛に成功した。1991年齊齊哈爾龍沙公園で自然孵化育雛で4羽が成長し、北京、哈爾浜、天津、済南、西寧、銀川、蘭州、合肥、杭州等の動物園でも飼育しており、その総数は20～30羽となる。

**保護施策** 国家I級保護動物に指定されている。生息環境の保全を強化しなければならないのは当然で、水質汚染のためにも毒物による漁獲、火薬による漁獲、密猟を嚴重に取り締まる必要がある。また重要繁殖地(新疆省南部)に自然保護区を設立することを提案する。